

## 多治見の事業者へ 成長期支援の融資

十六銀、東濃信金  
取り扱い開始

十六銀行と東濃信用金庫は19日、多治見市内の事業者向けに、創業から成長期の資金調達を支援する融資「たじみ活性化プラン」の取り扱いを始めた。

多治見商工会議所、笠原町商工会と連携した取り組み。融資対象は、市の活性化に向けたアイデアや事業

計画を競ったたじみビジネスプランコンテストの申し込み実績があるか、商工会議所や商工会の経営指導員から伴走型支援を受けている法人、個人事業主。限度額と期間は、運転資金が3千万円で5年以内、設備資金が1億円で7年以内。ともに1年間の据え置きの設定が可能。

希望者は商工会議所や商工会が発行する証明書を持ち、いずれかの金融機関に申し込む。